



ながら SDGs 通信 第 18 回 目標 15. 陸の豊かさ も守ろう



長柄町タウンアドバイザー／千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太

「目標 15. 陸の豊かさも守ろう」は、生態系や生物多様性の保護や回復、持続可能な森林の管理、砂漠化の防止のための目標です。ここでは、持続可能な森林について考えます。

森林には、さまざまな動植物が生息しています。また、森林は二酸化炭素を吸収し、気候変動の影響を緩和します。さらに、森林は燃料や建材として利用されるほか、土砂崩れや洪水の緩和、津波の被害軽減にも貢献します。

その森林は、世界で毎年およそ 1,300 万ヘクタール（北海道の約 1.5 倍の面積）が失われています。植林などを差し引いた純消失面積は年間 330 万ヘクタールで、1990 年代と比べると半分程度ですが、それでも千葉県は 6 倍以上の森林面積が毎年失われています。国別にみると、ブラジル、インドネシア、ミャンマーなどで森林が大きく減っている一方で、中国などでは森林面積が増えています。

森林の違法な伐採を防ぐ方法として、認証制度があります。日本でも、持続可能性や環境保全に配慮された森林から算出される木材や木製品に対して付与される「FSC 認証」などが広がっています。

【出典】国際連合広報センター「陸の豊かさも守ろう」
環境省「森林と生きる -世界の森林を守るため、いま、私たちにできること-」